

5/6号設備運用状況

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	5月		6月				7月			8月			9月	備考
				24	31	7	14	21	28	5	12	19	下	上	中		
5/6号設備運用状況	運用管理	1. 設備維持	DG、冷却設備等の維持 (実績) 計画的な点検の実施 (予定) 計画的な点検の実施	現場作業		6号機計画点検の実施(2019/9/30~2020/7/7)										5、6号機の設備維持に必要な計画点検の実施。 ・次回5号機計画点検予定時期：2021/1/18~2022/1/1/26	
		2. 使用済燃料の冷却	5号機使用済燃料の冷却 (実績) 使用済燃料の冷却継続(2015/6/1使用済燃料プールへの燃料移動完了) (予定) 使用済燃料の冷却継続	現場作業		使用済燃料の冷却継続										5号使用済燃料プールからの取り出しについては、1-3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しのスケジュールに影響を与えないよう実施予定。	
			6号機使用済燃料の冷却 (実績) 使用済燃料の冷却継続(2013/11/29使用済燃料プールへの燃料移動完了) (予定) 使用済燃料の冷却継続	現場作業		使用済燃料の冷却継続									6号使用済燃料プールからの取り出しについては、1-3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しのスケジュールに影響を与えないよう実施予定。		
		3. 滞留水の処理	建屋滞留水移送・処理 (実績) ・滞留水移送・処理 (予定) ・滞留水移送・処理	現場作業		滞留水移送・処理									建屋内の滞留水を屋外タンクに移送後、RO装置・浄化ユニットにて処理後、構内散水。 ・2020年6月15日：浄化ユニット処理水構内散水開始 ・2020年5月11日：浄化ユニットによる構内散水使用前検査終了証受領 浄化ユニットによる構内散水の使用前検査を3月26日実施。 ・2019年5月21日：実施計画変更認可申請 ・2019年12月13日：実施計画変更認可 浄化ユニット供用開始。 ・2017年5月23日：実施計画変更認可申請 ・2018年6月21日：実施計画変更認可 ・2019年12月12日：使用前検査終了		
4. 新燃料の搬出	6号機の新燃料の除染・搬出 (実績) ・解体・除染・再組立 (予定) ・解体・除染・再組立	現場作業											解体・除染・再組立(9月下旬~)	9月下旬より解体・除染作業再開(準備作業含む) 4月27日に曲げ戻した燃料棒(1本)を71本の健全棒が挿入された燃料集合体に挿入、新燃料貯蔵庫に収納。 4月22日~24日に曲がり燃料棒の曲げ戻し作業を実施。 2020年4月8、9に健全燃料棒71本を除染・再組立てしNFVに収納。 2018年8月下旬から搬出準備作業を開始。 2019年9月下旬より解体・除染作業再開(準備作業含む) 2019年11月25日新燃料除染作業における燃料棒の曲げ事象が発生し、作業中断。曲がり燃料棒の復旧及び再発防止検討の為、解体・除染作業の再開は未定。 ・2018年4月24日：実施計画変更認可申請 ・2018年10月22日：実施計画変更認可			

福島第一原子力発電所 5・6号機の現状について

(5・6号機 低レベル滞留水量の状況)

2020年 7月 2日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 5・6号機 低レベル滞留水量※の状況

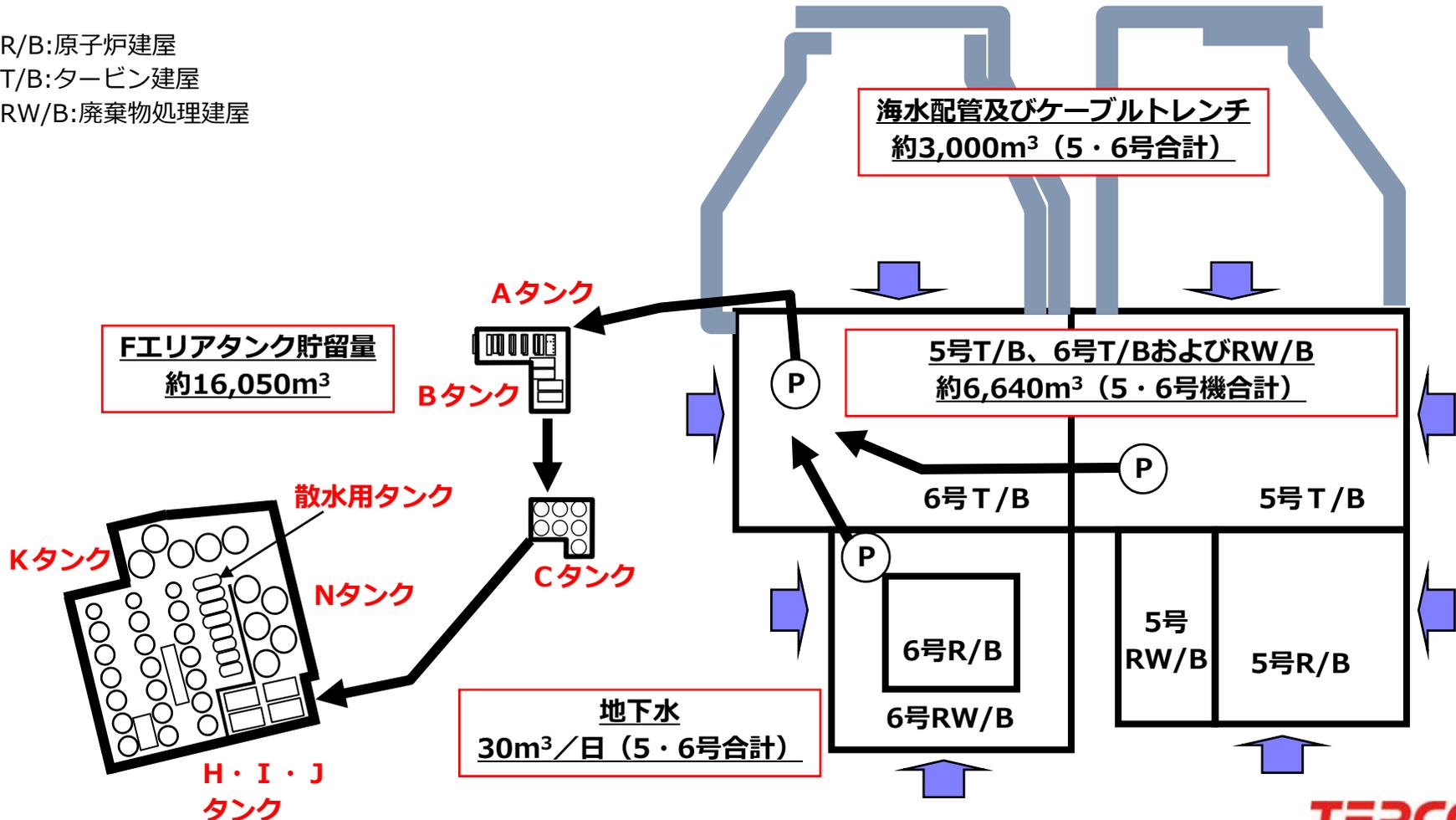
5・6号機 低レベル滞留水の合計約25,690m³ (2020.6.18現在)

メガフロート
0m³ (ろ過水, 海水)

海



R/B:原子炉建屋
T/B:タービン建屋
RW/B:廃棄物処理建屋

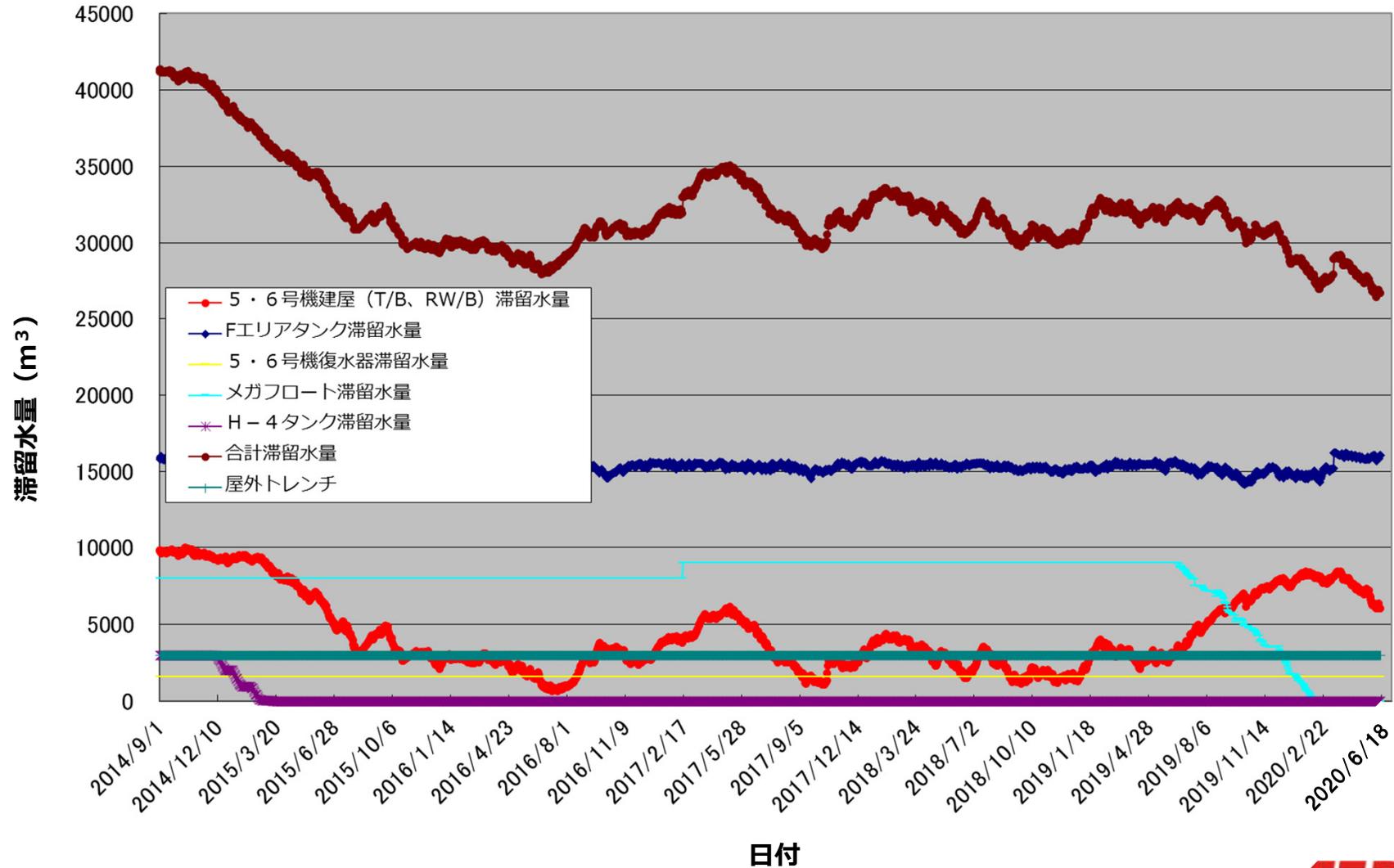


※低レベル滞留水：5・6号機滞留水は、1－4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

2. 5・6号機 低レベル滞留水量の推移

- 2014年9月から2020年3月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり

5・6号機 低レベル滞留水量の推移



6号機 新燃料曲がり燃料棒の復旧について

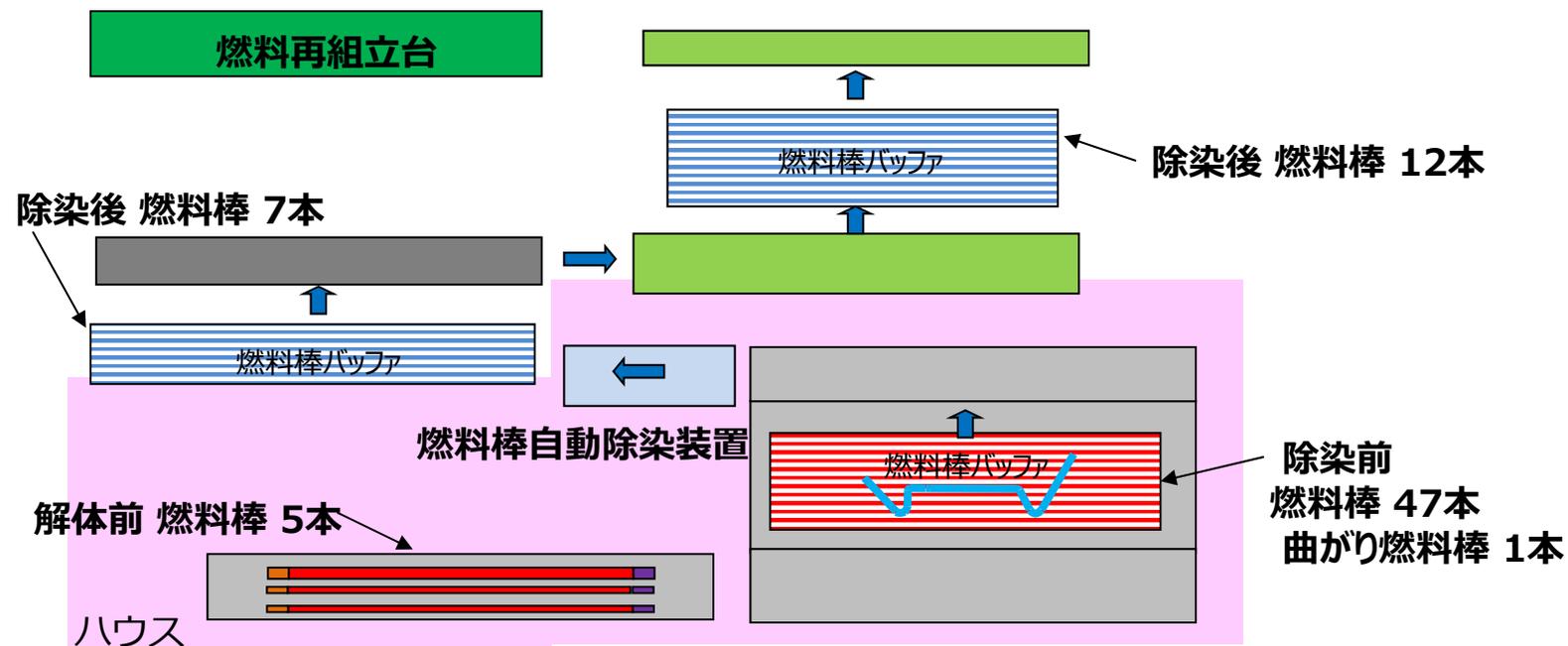
2020年7月2日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

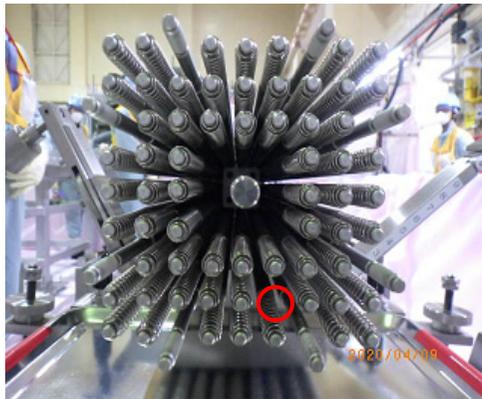
1 仮置き燃料棒の燃料集合体への復旧

- ▶ 当該燃料集合体は、除染／再組立作業の中断により、燃料棒72本がバラバラの状態でおペフロに仮置状態が長期化していた。（2019年11月25日～）
- ▶ 2020年4月 仮置き燃料棒（「健全燃料棒71本」と「曲がり燃料棒1本」）の除染／再組立を実施し、燃料集合体形状で新燃料貯蔵庫へ収納（貯蔵）した。



2 健全燃料棒（71本）の燃料集合体への復旧

- ▶ 曲がり燃料棒の曲げ戻し作業を安全に実施するため、健全棒（71本）の除染・再組立を先行した。
- ▶ 4月8日～9日 曲がり燃料棒1本が抜けた状態で、健全棒71本を除染・再組立を実施し、燃料集合体形状で燃料貯蔵設備（新燃料貯蔵庫）に収納（貯蔵）した。



燃料棒の挿入



上部タイプレートの取り付け

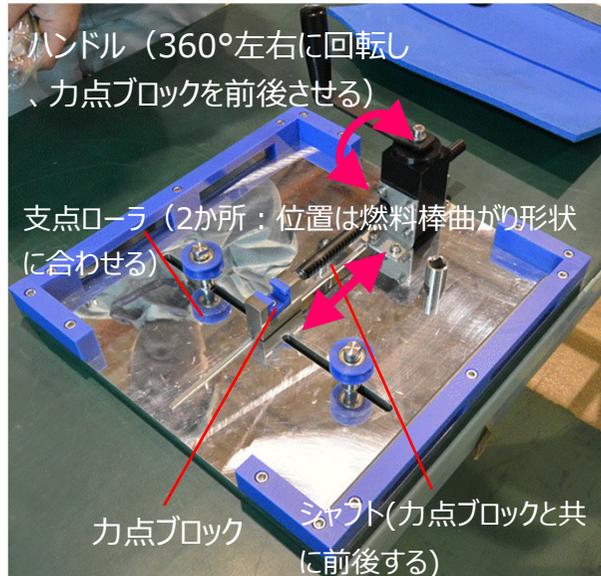


新燃料貯蔵庫の収納

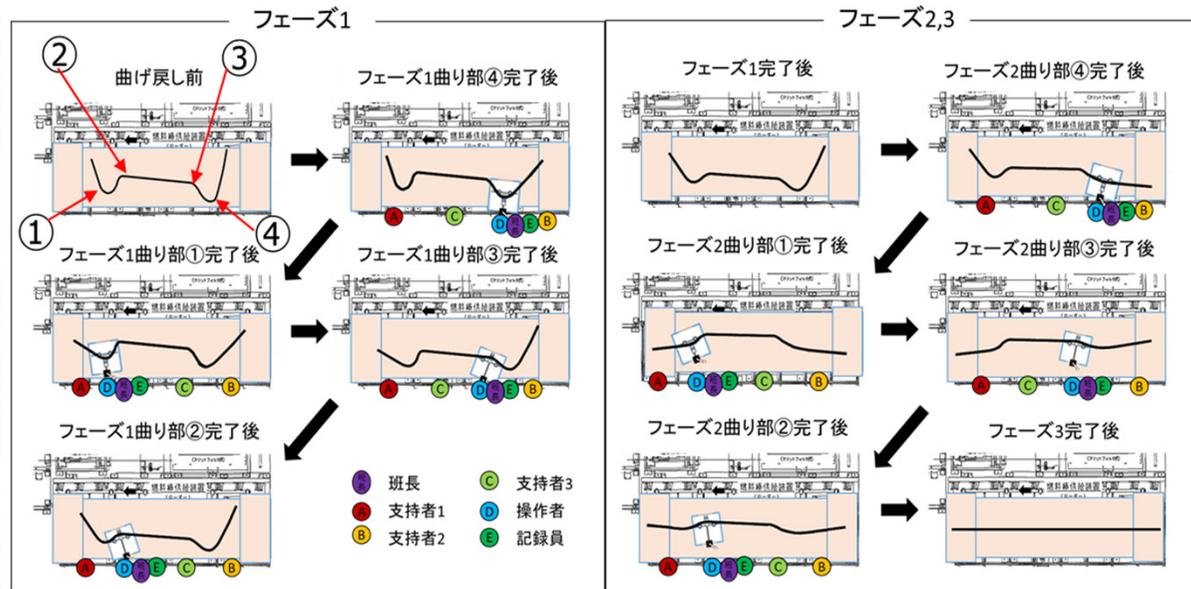
- ▶ 赤丸部分の燃料棒（曲がり燃料棒）が抜けている。
- ▶ 健全燃料棒（71本）を燃料集合体に組み込み新燃料貯蔵庫に収納（貯蔵）した。

3 曲がり燃料棒の「曲げ戻し」と「燃料集合体への復旧」

- ▶ 4月22日～24日、27日 曲がり燃料棒の曲げ戻し作業を実施した。
- ▶ 曲げ戻しは、4ヶ所の曲がり部分（①～④）を3つのフェーズに分け、専用治具を用いて徐々に曲げ戻した。（下図 参照）
- ▶ 曲げ戻し後、手作業による除染、局所変形部検査、真直度検査、除染、外観・汚染検査を実施（合格）。
- ▶ 曲げ戻した燃料棒（1本）を71本健全棒が挿入された燃料集合体に挿入、新燃料貯蔵庫に収納（貯蔵）した。



曲げ戻し専用治具

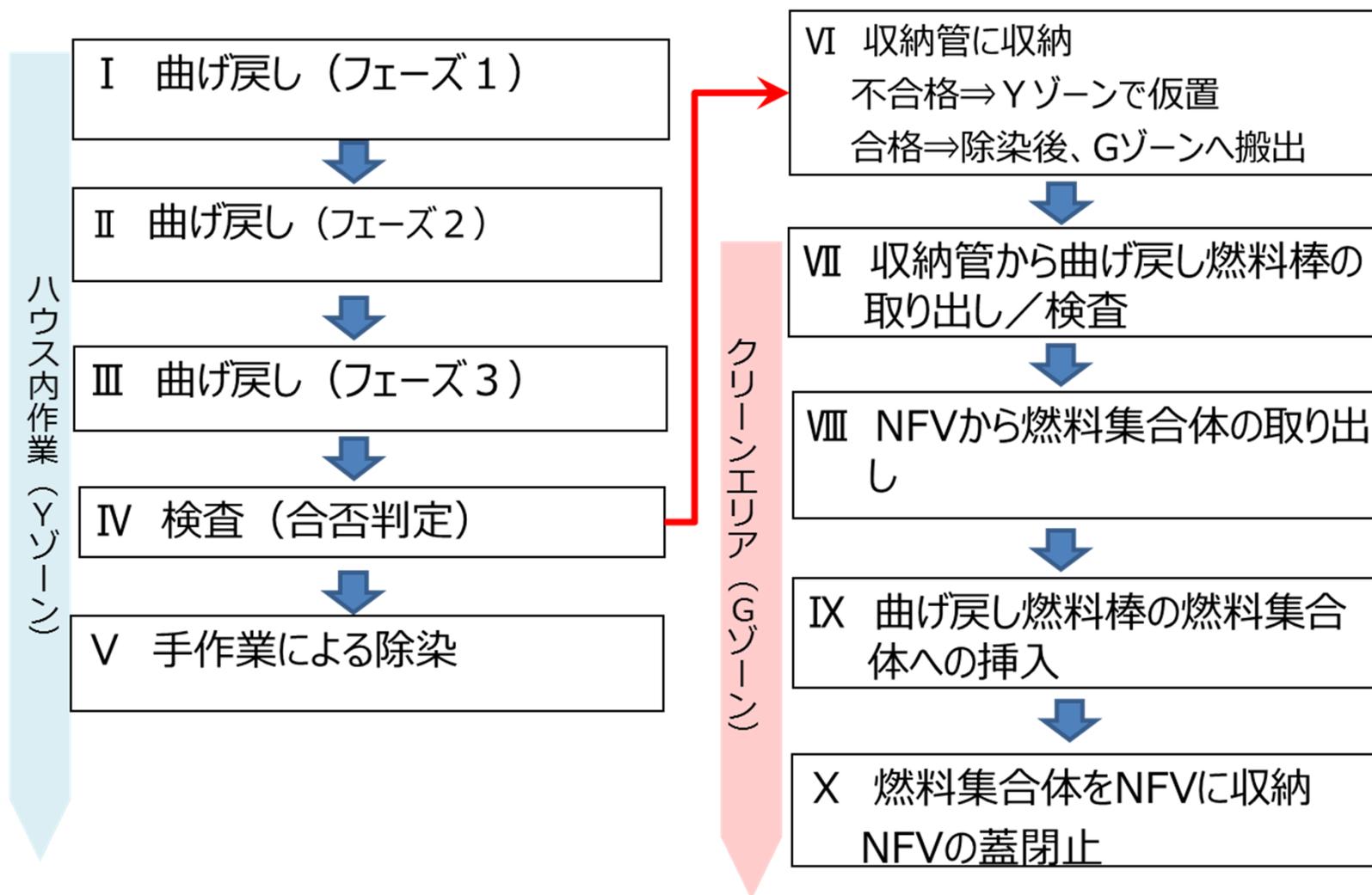


項目	2020年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
天井クレーン点検				
新燃料 除染・再組立	 曲げ戻し		 NFV15体	

- * 2020年度は、新燃料貯蔵庫（NFV）内の15体を実施予定。
- * 2021年度は、使用済み燃料プール（SFP）内の11体を実施予定。
- * 所外搬出は、2021年度以降を予定。（検討中）

【参考】 曲げ戻し作業フロー

- 燃料棒の曲げ戻し作業の目的
 - ・安全に燃料棒の曲げ伸ばし作業を実施すること。
 - ・曲げ伸ばした燃料棒の健全性を確認し、燃料集合体に組み込み、もしくは収納管に収納する。



【参考】 曲げ戻し作業写真 (1/3)



曲げ戻しフェーズ1



曲げ戻しフェーズ2完了



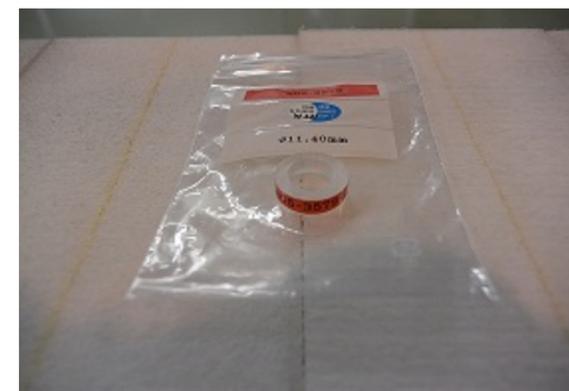
曲げ戻し完了



除染作業

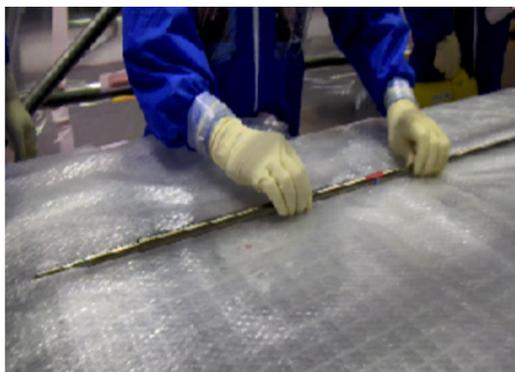


局所変形部検査
(リングゲージ)

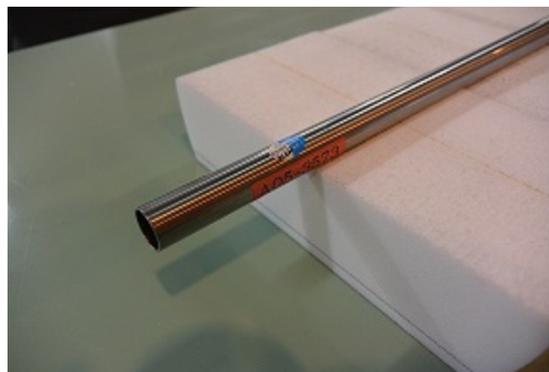


リングゲージ

【参考】 曲げ戻し現場写真 (2/3)



真直度検査
(真直度検査管)



真直度検査管



外観・汚染検査



収納管に挿入



ハウス外へ搬出



曲げ戻し燃料棒の挿入

【参考】 曲げ戻し現場写真 (3/3)



挿入後の曲げ戻し燃料棒

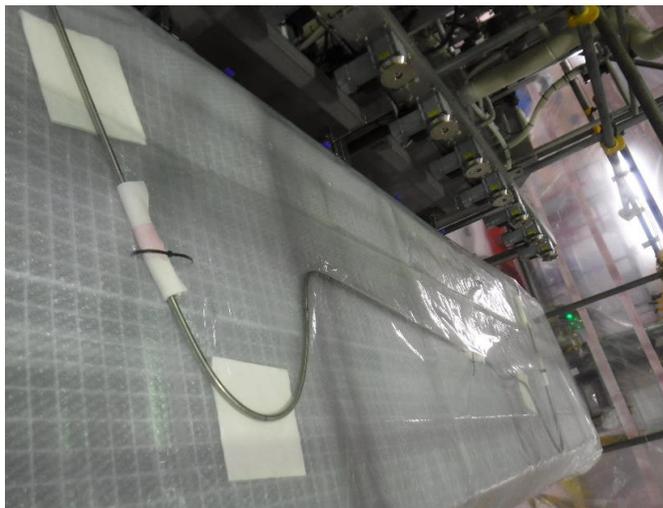


上部タイプレート取り付け

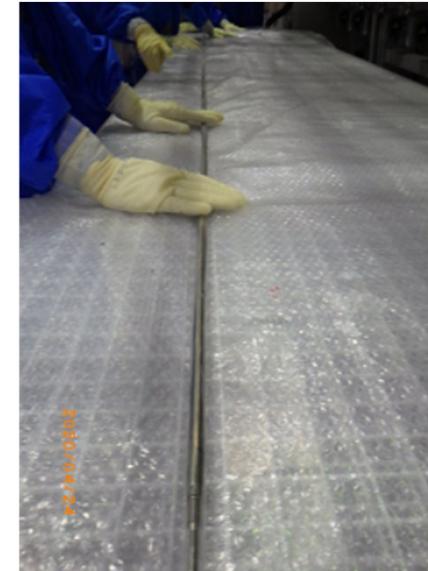
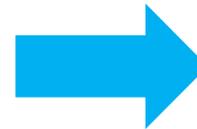
* 赤丸部分が曲げ戻した燃料棒



新燃料貯蔵庫に収納



2019年12月25日
曲がり燃料棒



2020年4月24日
曲げ戻した燃料棒